

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 16日

埼玉県知事
大野 元裕 殿



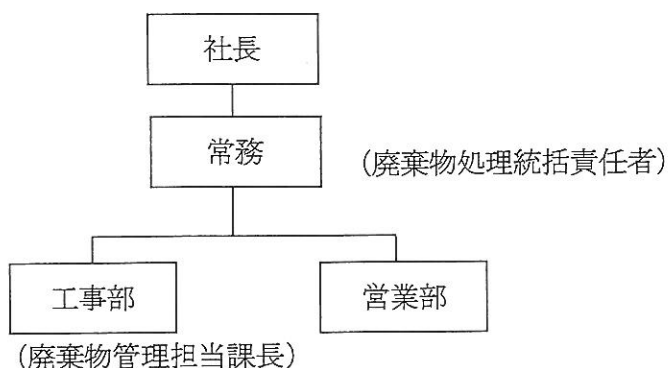
提出者
住 所 埼玉県東松山市神明町1-2-1
氏 名 株式会社 大野工務所
電話番号 0493-23-7711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 大野工務所
事業場の所在地	埼玉県東松山市神明町1-2-1
計画期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	60,000万円
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 ⇒ 破碎 ⇒ 再生砕石として再生利用 木くず ⇒ 破碎 ⇒ チップとして再生利用 廃プラスチック類 ⇒ 破碎 ⇒ 最終処分場にて埋立処分 建設汚泥 ⇒ 焼却 ⇒ 最終処分場にて埋立処分 石綿 ⇒ 最終処分場にて埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和 4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	3986.89 t	t
	(これまでに実施した取組) 梱包材等は一般廃棄物として処分するなど分別を徹底する。 パレット等は、返却する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	5140.90 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事で発生する廃棄物は、極力振り分けし排出する。 受注する工事量及び種類により産廃量が増減するが、目視分別 などこれまで行ってきたことを継続し行う。 事業の規模は、昨年同様を見込んでいるが産廃量は、前年度の八割と することを目標とする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	がれき類・木くず・廃プラ・建設汚泥・石綿管について分別 がれき類に土砂が混入しないよう目視による識別管理をする。
② 計画	がれき類・木くず・廃プラ・建設汚泥・石綿管について分別 がれき類に土砂が混入しないよう目視による識別管理をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	3986.89 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	49.62 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3937.27 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 委託した処分場等の現地確認の実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	3670.32 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	40.00 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3630.32 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) できるだけ優良認定処理業者から選定する。 委託業務に関する社内研修を定期的実施する。		
※事務処理欄			

前年度（4年度）実績表

産業廃棄物の種類	単位	前年度の排出量	今年度の目標
コンクリートがら	t	727.42	600.00
アスコンがら	t	2751.58	3000.00
廃プラスチック	t	4.20	10.00
石綿含有産業廃棄物	t	0.30	0.30
木くず	t	1.90	20.00
その他(泥水)	t	15.38	15.00
混合廃棄物	t	442.11	10.00
金属くず	t	0.00	0.00
その他のがれき類	t	0.00	10.00
紙くず	t	0.00	0.00
その他(汚泥)	t	44.00	5.00
その他(PCB)	t	0.00	0.02
合計	t	3986.89	3670.32

今後予想される産業廃棄物の種類

1. アスファルトがら
2. コンクリートがら
3. その他(泥水)
4. 廃プラスチック
5. 木くず
6. 建設混合廃棄物
7. 石綿含有産業廃棄物
8. その他のがれき類
9. その他(汚泥)
10. その他(PCB)

※ 可能な限り付着物(泥など)を排除し、分別を行い適切に処分する。
再生可能な物のリサイクル率を向上させる。